

平成20年度夢づくり協働推進事業の実施状況 20

事業名

ぶどうの担い手確保で中山間地域を活性化

事業の概要

井原市は、ぶどう栽培が盛んであり、基幹品目として推進が行われているが、近年は高齢化により産地の縮小が懸念されている。

産地の維持・発展のためには、産地の担い手確保が重要であるが、十分な確保が困難となっている。そのため、農家だけでなく地域の非農家や、企業の定年退職予定者を対象に、農業短期体験研修や現地見学ツアーによる栽培PR、ぶどう塾の開催等、多様な取組による新規栽培の呼びかけを行うことが必要である。

そこで、県、市、農業団体、ぶどう生産者と協働でこれらを実施し、ぶどうの担い手確保を進めた。

協働の主体、役割分担

協働の主体	役割分担
JA岡山西井原市ぶどう部会、JA岡山西	事業実施
企業	農業短期体験研修参加者募集
井原市	参加者募集案内掲載、実施協力
県民局（井笠農業普及指導センター）	参加者募集支援、実施協力、資料作成、栽培指導

実施状況

1 企業訪問

会社定年後の再就職の一つとして、ぶどう栽培が一つの選択肢となるよう5月21日に(株)タカヤを訪問し、農業短期体験研修の募集PRを行った。社内に募集チラシを配布してPRするとの回答を得たが、残念ながら、農業短期体験研修等への出席者はなかった。

2 現地見学会、体験研修

ぶどう生産者組織、農業団体等と協力し、ぶどう栽培に興味のある方を募り、ぶどう栽培の農業短期体験研修、現地見学ツアーの開催を行った。

(1) 農業短期体験研修

① 日時及び参加人数

第1回目：6月7日・6人

第2回目：6月21日・4人

第3回目：7月12日・5人

第4回目：8月30日・5人

② 実施場所：井原市美星地区

(2) 現地見学ツアー

① 日時及び参加人数 8月30日・1人

② 実施場所：井原市美星地区・青野地区・芳井地区

3 ぶどう塾の開催

栽培初心者を対象にぶどう栽培者として定着するよう、基礎的な栽培講習、現地講習を行った。

(1) 日時及び参加人数

第1回目：5月28日・8人

第2回目：6月21日・8人

第3回目：10月21日・5人

(2) 実施場所：井原市芳井地区

4 新規栽培者の就農受入体制の整備

(1) 園地、情報の収集・提供

市、ぶどう部会、JAが新規栽培者が栽培開始できるよう農地情報を収集した。美星地区内のもも園跡地をぶどう部会の研修ほ場として、50aを借り受けることができた。

(2) 技術支援

新規栽培者については、卓越した栽培技術を有する「ピオーネマイスター」（井原市で5人選定）や部会役員にJA、普及センターが協力し、技術支援を行った。



6月7日 農業短期体験研修



8月30日 農業短期体験研修



5月28日 ぶどう塾



6月21日 ぶどう塾

成果・効果

- 1 農業短期体験研修の参加者のうち2名がぶどう栽培を開始したい意向を示し、うち1名は1カ月の農業体験研修を受け、平成21年度から2年間の農業実務研修を経て就農する。また、3名がJA岡山西美星ピオーネ部会支援の会に加入し、活動することとなった。
- 2 ぶどう部会及び関係機関が一丸となって、新規栽培者の確保活動を継続して行うこととなった。